

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルゴグラフィックス
 コード番号 7595 URL <http://www.argo-graph.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・広報・法務統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 藤澤 義麿
 (氏名) 伊藤 俊彦

TEL 03-5641-2037

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	16,947	△23.4	417	△75.0	538	△69.0	250	△69.1
21年3月期第3四半期	22,130	—	1,668	—	1,736	—	811	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第3四半期	25.20	25.20
21年3月期第3四半期	82.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第3四半期	20,348	14,345	63.1	1,289.55
21年3月期	20,489	14,345	63.2	1,301.80

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 12,835百万円 21年3月期 12,957百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	50.00	50.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	23,200	△18.4	840	△59.5	1,030	△52.6	540	△33.3	51.65

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	10,454,100株	21年3月期	10,454,100株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	500,250株	21年3月期	500,238株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	9,953,855株	21年3月期第3四半期	9,842,124株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。連結業績予想につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年の秋からはじまった世界経済の急変の影響から抜け出すことができず、本格的な景気回復の道筋が見えないまま、企業収益の低迷は長期化の様相を呈し、雇用情勢の悪化や賞与カットなど、将来への不安要因が個人消費の足かせとなり、更にデフレを進行させるといった悪循環の中で推移いたしました。当社グループの主要取引先である自動車、電機業界におきましては、環境をテーマにした技術開発への取り組みが本格的にはじまり、わずかながら光明が見えてきたものの、世界市場の変化に対応した生産体制の見直しには、今しばらく時間がかかるものと思われまます。

このような環境の中、当社グループは「3次元設計システム」と「CAD応用技術」を中核とした「物造りの全工程の生産性向上を視野に入れたソリューション提供」について、企業の製造部門ばかりでなく研究開発部門の生産性向上まで範囲を広げるとともに、サーバの統合や置き換えによるコスト低減を目指した提案活動に引き続き注力いたしました。得意先企業の設備投資額の減少、延期及び値引き要請などにより、売上、利益ともに前年同四半期を大きく下回ることとなりました。

その結果として、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が16,947百万円（前年同四半期比23.4%減）、営業利益は417百万円（同75.0%減）、経常利益は538百万円（同69.0%減）、四半期純利益は、250百万円（同69.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ140百万円減少し、20,348百万円となりました。

① 資産

流動資産は、現金及び預金が60百万円減少、受取手形及び売掛金が87百万円増加、商品が287百万円減少、仕掛品が56百万円増加、原材料及び貯蔵品が1百万円減少、その他が135百万円減少したことにより、前連結会計年度末比341百万円減の11,668百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が127百万円増加、無形固定資産のうち、のれんが9百万円減少、その他が45百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が200百万円増加、その他が71百万円減少したことにより、前連結会計年度末比200百万円増の8,680百万円となりました。

② 負債

流動負債は、買掛金が244百万円増加、未払法人税等が320百万円減少、賞与引当金が244百万円減少、役員賞与引当金が30百万円減少、その他が105百万円増加したことにより、前連結会計年度末比244百万円減の4,944百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が51百万円増加、その他が52百万円増加したことにより、前連結会計年度末比104百万円増の1,058百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比140百万円減の6,002百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が246百万円減少、その他有価証券評価差額金が129百万円増加、為替換算調整勘定が4百万円減少、新株予約権が125百万円増加、少数株主持分が3百万円減少したことにより、前連結会計年度末から増減なく14,345百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローについて

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ100百万円減少（同△1.8%）し、5,602百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は432百万円となりました。（前年同四半期1,073百万円）

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益523百万円、減価償却費131百万円、株式報酬費用125百万円、たな卸資産の減少額223百万円、仕入債務の増加額244百万円であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額244百万円、法人税等の支払額502百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は51百万円となりました。(前年同四半期△2,853百万円)

収入の主な内訳は、差入保証金の回収による収入104百万円、預け金の回収による収入29百万円であり、支出の内訳は、有形固定資産の取得による支出34百万円、差入保証金の差入による支出18百万円、定期預金の預入による支出40百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は576百万円となりました。(前年同四半期1,959百万円)

支出の主な内訳は、リース債務の返済による支出58百万円、配当金の支払額499百万円、少数株主への配当金の支払額18百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成21年10月21日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

ソフトウェア開発請負の計上基準の変更

ソフトウェア開発請負に係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した請負契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる請負契約については進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の請負契約については検収基準を適用することとしております。

なお、これによる損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,742,665	5,803,552
受取手形及び売掛金	5,359,123	5,271,565
商品	47,486	335,265
仕掛品	67,618	11,372
原材料及び貯蔵品	15,252	16,799
その他	438,631	574,588
貸倒引当金	△2,500	△3,400
流動資産合計	11,668,279	12,009,743
固定資産		
有形固定資産	498,921	371,696
無形固定資産		
のれん	23,713	33,447
その他	176,790	222,709
無形固定資産合計	200,503	256,156
投資その他の資産		
投資有価証券	2,007,470	1,806,497
長期性預金	4,600,000	4,600,000
その他	1,373,602	1,445,159
投資その他の資産合計	7,981,072	7,851,657
固定資産合計	8,680,497	8,479,510
資産合計	20,348,777	20,489,253
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,082,687	2,838,099
未払法人税等	56,401	376,471
賞与引当金	148,971	393,466
役員賞与引当金	—	30,000
その他	1,656,439	1,551,276
流動負債合計	4,944,499	5,189,313
固定負債		
退職給付引当金	805,891	754,159
その他	252,419	199,984
固定負債合計	1,058,311	954,143
負債合計	6,002,811	6,143,456

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,337,718	1,337,718
資本剰余金	1,445,118	1,445,118
利益剰余金	11,077,958	11,324,773
自己株式	△598,333	△598,321
株主資本合計	13,262,461	13,509,289
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△402,999	△532,735
為替換算調整勘定	△23,517	△18,566
評価・換算差額等合計	△426,517	△551,302
新株予約権	323,733	198,384
少数株主持分	1,186,288	1,189,425
純資産合計	14,345,965	14,345,797
負債純資産合計	20,348,777	20,489,253

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	22,130,101	16,947,344
売上原価	16,944,782	13,228,780
売上総利益	5,185,318	3,718,563
販売費及び一般管理費合計	3,516,541	3,301,011
営業利益	1,668,777	417,551
営業外収益		
受取利息	38,023	38,706
受取配当金	23,039	38,642
補助金収入	—	57,680
その他	26,324	4,740
営業外収益合計	87,386	139,769
営業外費用		
支払利息	860	—
持分法による投資損失	3,520	9,702
株式交付費	8,000	—
固定資産除却損	—	4,074
その他	7,666	5,441
営業外費用合計	20,047	19,217
経常利益	1,736,116	538,103
特別損失		
投資有価証券評価損	121,940	—
事務所移転費用	25,205	14,134
特別損失合計	147,145	14,134
税金等調整前四半期純利益	1,588,970	523,968
法人税、住民税及び事業税	631,828	191,346
法人税等調整額	117,905	62,802
法人税等合計	749,734	254,149
少数株主利益	27,560	18,942
四半期純利益	811,675	250,877

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,926,736	6,046,720
売上原価	5,412,085	4,748,243
売上総利益	1,514,650	1,298,477
販売費及び一般管理費合計	1,167,159	1,097,564
営業利益	347,491	200,913
営業外収益		
受取利息	11,950	16,279
受取配当金	17,370	17,460
その他	4,071	14,014
営業外収益合計	33,392	47,753
営業外費用		
持分法による投資損失	2,432	—
自己株式取得費	3,031	—
固定資産除却損	—	1,888
固定資産売却損	—	1,052
減価償却費	—	758
その他	1,032	55
営業外費用合計	6,496	3,754
経常利益	374,387	244,912
特別損失		
投資有価証券評価損	121,940	—
事務所移転費用	25,205	—
特別損失合計	147,145	—
税金等調整前四半期純利益	227,241	244,912
法人税、住民税及び事業税	92,533	36,553
法人税等調整額	75,156	61,834
法人税等合計	167,690	98,388
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△70,453	17,992
四半期純利益	130,004	128,531

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,588,970	523,968
減価償却費	104,885	131,664
株式報酬費用	113,233	125,349
のれん償却額	12,843	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△257,577	△244,495
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△30,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	60,913	51,732
受取利息及び受取配当金	△61,062	△77,348
投資有価証券評価損益(△は益)	121,940	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,606,833	△87,557
たな卸資産の増減額(△は増加)	118,676	223,566
前渡金の増減額(△は増加)	61,821	△55,110
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,588,436	244,588
前受金の増減額(△は減少)	347,633	92,989
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,021	△56,402
その他の流動負債の増減額(△は減少)	89,602	—
その他	9,009	22,625
小計	2,297,264	865,570
利息及び配当金の受取額	58,453	70,042
利息の支払額	△629	—
法人税等の支払額	△1,281,543	△502,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,073,545	432,882
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期性預金への預入れによる支出	△300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△116,994	△34,963
無形固定資産の取得による支出	△102,629	—
投資有価証券の取得による支出	△2,104,863	—
差入保証金の差入による支出	△57,612	△18,546
差入保証金の回収による収入	—	104,567
子会社株式の取得による支出	△36,752	—
出資金の払込による支出	△43,539	—
預け金の預入れによる支出	△29,862	—
預け金の回収による収入	—	29,862
定期預金の預入による支出	△100,000	△40,000
貸付金の回収による収入	38,336	—
その他	450	10,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,853,466	51,398

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△150,000	—
リース債務の返済による支出	—	△58,600
自己株式の取得による支出	△601,095	—
自己株式の売却による収入	3,364,510	—
配当金の支払額	△443,459	△499,055
少数株主への配当金の支払額	△26,520	△18,600
子会社の自己株式の取得による支出	△183,760	—
その他	—	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,959,674	△576,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,404	△8,898
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	173,349	△100,886
現金及び現金同等物の期首残高	5,368,261	5,703,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,541,611	5,602,665

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。